

新たな障がい者雇用を創出

9月28日（月）、社会福祉法人愛生会では、NPO法人エコキャップ推進協会との協働宣言に基づき、回収したペットボトルキャップを分別・破碎し、町内のリサイクル業者に販売する業務を新たに開始しました。これにより新たに障がい者12名の雇用が生まれました。

ペットボトルキャップを破碎する機械などは、協働宣言に賛同した企業2社（株式会社タナカ・三和コンベア株式会社）から贈呈されました。



▲キャップ分別作業の様子

安全運転を心がけましょう！



▲交通安全を呼びかけるパレード隊

9月29日（火）、交通事故防止のため各種関係機関や団体と連携を図り、『交通安全1,000人街頭立哨パレード』が国道220号線を中心に展開されました。

交通安全立哨には、地域住民や交通安全協会、各小中学校、シルバー人材センター、老人クラブ等の関係団体から約500人が参加し、早朝から交通安全を呼びかけました。

交通事故は日常生活において最も身近に起こりうるものです。交通事故ゼロを目指して、ドライバーも歩行者もお互いに気をつけましょう。

初期消火完了！感謝状を贈呈

9月30日（水）、横瀬在住の宝満正信さん・智恵子さん夫妻と濱田朝江さんら3名が、志布志消防署から感謝状を贈呈されました。

これは、8月20日に横瀬地区で発生した建物火災の早期発見・通報・初期消火といった一連の消防活動に対して贈られたもので、消防署は「一連の活動がスムーズに行われなければ住宅が全焼する可能性もあり、懸命な消火活動は誠に勇気ある行動です。」と話されました。宝満さんは、「表彰されるようなことはしていない。とにかく誰もケガをせずに済んでよかった。」と話されました。



▲左から宝満正信さん・宝満智恵子さん・濱田朝江さん